

# 出遅れている米国中型株に注目が集まる

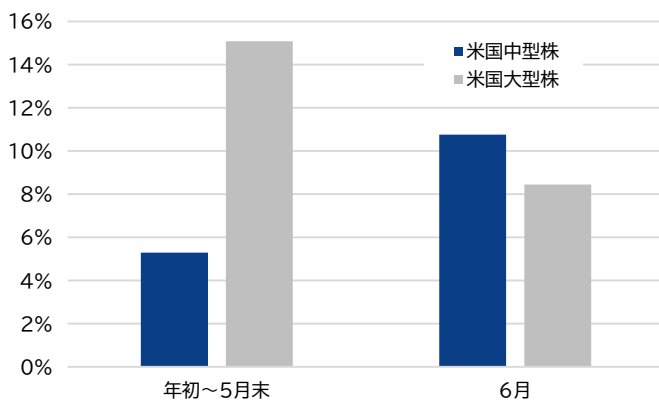
岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
愛称 ザ・ディスカバリー  
追加型投信/内外/株式

## 足元の株式市場と為替市場の動き

6月の米国株式市場は上昇しました。米国の債務上限問題が決着し債務不履行を回避できたことや、米連邦準備制度理事会(FRB)が6月13-14日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げを一時停止したこと等を背景に、投資家が株式をはじめとするリスク資産に対し楽観的になったことが背景にあります。

6月の米ドル/円相場は、5月末の139円台後半から145円近辺に上昇する動きとなりました。6月のFOMCにおいて、メンバーの政策金利見通しが市場予想以上に引き上げられたことなどをを受けて、中旬以降に上値を試す動きが強まりました。

図表1 米国の中型株・大型株の期間別騰落率(2023年)



※米国中型株はS&P中型株400種、米国大型株はS&P500種、いずれも現地1営業日前の指数を当日の為替レート(TTM)で円換算

## 相対的に魅力度が高い中型株

年初からの動きで見ると株式市場の回復は大型株中心で、中型株については相対的に出遅れていましたが、6月は大型株を上回る動きとなりました(図表1)。基準価額においては為替ヘッジなしが設定来の高値を更新し、為替ヘッジありも3月の水準を上回りました。中型株は大型株と比べバリュエーションの水準も割安であることから、相対的な魅力度により注目が集まるものと考えています(図表2)。

足元にかけては、市場ではグロース銘柄を中心に大幅な上昇がみられましたが、市場参加者が楽観的なシナリオに傾斜している点には注意が必要と考えています。今後主要国が景気後退に陥る可能性もあるため、そのような厳しい外部環境においても成長できる企業かどうかといった視点が肝要であると考えます。業種別では、**市場参加者の注目を集めるテクノロジーだけでなく、エネルギーや資本財・サービスも含め幅広い業種から魅力的な投資機会を見出していきます。**

図表2 米国の中型株・大型株の予想PER  
(期間 2003年6月～2023年6月、月次)



(図表1～2の出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

### 一本資料に関してご留意いただきたい事項一

■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 注目銘柄のご紹介

### ビルダーズ・ファーストソース（米国:資本財・サービスセクター）

現在注目している銘柄が木材を中心とした建材サプライヤー大手のビルダーズ・ファーストソースです。同社は過去数年にわたり良く練られたM&A戦略を執行し、米国で最も成長率の高い市場セグメントにおいて確固たる地位を築き上げてきました。同社はまた、ドアや窓枠等の木工品など、付加価値の高い商品ラインナップも戦略的に拡充させてきました。マクロ的な観点からは、**米国住宅不動産市場の供給不足や価格高騰といった要因が同社の業績にとって追い風**となることが見込まれます。

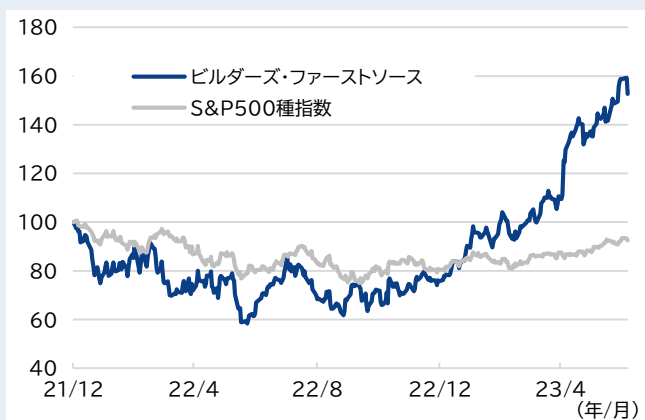


※上記はイメージ図です。

木材という市況品を扱っているため、短期的には市況に応じて業績動向が変動する局面が出ていると考えられるものの、**戦略的なラインナップを揃えている同社の加工品は利益率が総じて高く、中長期的にはこういったビジネスが業績、ひいては株価を支えていくもの**と見ております。

図表3 ビルダーズ・ファーストソースの株価推移

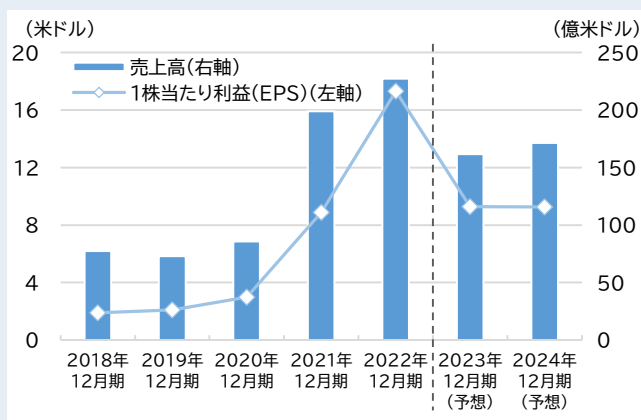
（期間 2021年12月31日～2023年7月6日、日次）



※2021年12月31日を100として指数化

図表4 ビルダーズ・ファーストソースのEPS、売上高の推移

（期間 2018年～2024年、年次、予想を含む）



（図表3～4の出所）Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

#### 一本資料に関してご留意いただきたい事項ー

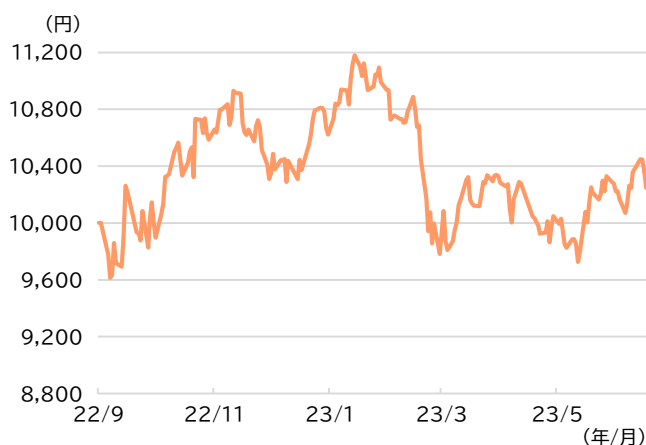
■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## 運用状況 (作成基準日 2023年7月7日)

### <為替ヘッジあり>

#### 基準価額の推移

(2022年9月21日～2023年7月7日、日次)



#### ファンドデータ

基準価額	10,249円
残存元本	1,991百万口
純資産総額	2,040百万円

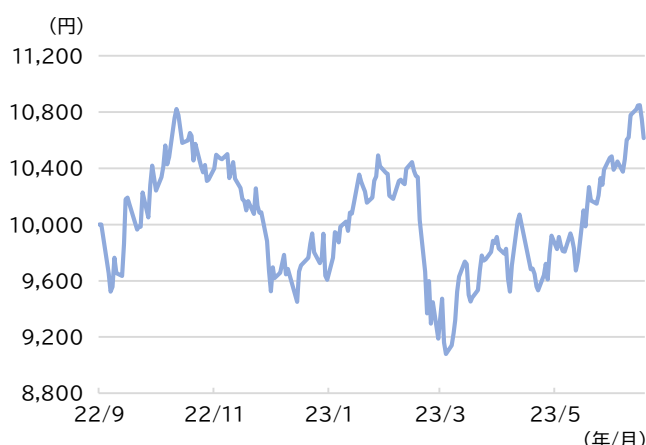
#### ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	97.6%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	2.2%

### <為替ヘッジなし>

#### 基準価額の推移

(2022年9月21日～2023年7月7日、日次)



#### ファンドデータ

基準価額	10,614円
残存元本	9,590百万口
純資産総額	10,179百万円

#### ポートフォリオ構成比率

フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	98.0%
マネー・インベストメント・マザーファンドⅡ	0.2%
短期金融商品その他	1.8%

※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

### 一本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



# 岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンドに関する留意事項

## 【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号：SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

## 【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
  - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

## 【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
  - 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
  - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
  - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
  - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

## 【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料 : ありません。
  - 信託財産留保額 : ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用(信託報酬)
    - : 純資産総額×年率1.265%(税抜1.15%)
  - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
    - : 純資産総額×年率1.98%(税抜1.80%)程度
    - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
    - なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
  - 監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

岡三フィデリティ・グローバル・コア株式ファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)  
愛称 ザ・ディスカバリー  
追加型投信/内外/株式

## 販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)